

安保委採決 議事録に野党反発

参院特別委員会で先月17日、安全保障関連法案を採決した際の議事録が公開された。与野党議員の怒号が飛び交った採決の直後に作成された速記録では、可決を宣言したとする鴻池祥肇委員長の発言を「聴取不能」としていたが、「可決すべきものと決定した」との文言が加わった。野党は「採決は無効」と反発している。

議事録は今日11日、参院のホームページで公開された。9月17日の委員会採決時には、鴻池氏の周囲に与野党議員が集まり、怒号が

委員長発言、速記録「聴取不能」



「可決すべきものと決定」追加

飛び交った。双方がもみあう中、参院の速記担当者は「発言する者多く、議場騒然、聴取不能」と記録。参院事務局によると、鴻池氏の判断で、最終的に「可決すべきものと決定した」との文言が議事録に追加されたという。

これに対し、民主党の岡田克也代表は、議事録の内容を与野党議員による特別委理事会などで協議しなかったことを問題視し、「与党だけで文書を作り上げたのは前代未聞。横暴に強く抗議する」と批判した。